

体験学習の受け入れで

組合事業を拡大

ACTIVE KUMIAI



ほうとうづくりを教える組合員

北杜市の高根クラインガルテン企業組合(清水昭博理事長)は首都圏の住民などを対象に貸し農園事業を行っているが、あわせて東京・神奈川の小中学校の体験学習を受け入れることで、事業の拡大も図っている。

組合で行っている体験学習には、「食の体験」としてほうとうづくり・そば打ち・餅つき等、「農業体験」として田植え・稲刈り・じゃがいも掘り等、「工芸体験」として竹細工・わら細工・紙漉きなど多彩なメニューをそろえている。平成22年度の利用者数は114校、9,030人に及び、観光シーズンである春・秋だけでなく、冬を含めた1年を通して受け入れを行っている。

また、多いときには、1日に400人を受け入れることもあり、その場合には組合員を中心に40名近いインストラクターが受け入れ作業に従事する。組合には地域連絡員7名が設置され、多くのインストラクターを必要とする場合は、連絡員が担当組合員に連絡し必要人員を確保するという体制をとっている。

矢嶋専務理事は「食だけでなく工芸や農作業などたくさんメニューを揃え様々な体験をしてもらえるように工夫している。体験学習に来てくれた生徒や先生に喜んでもらえるようにスタッフみんなので気を配っており、リピーターとなってくれる学校や先生も多いので、これからも頑張りたい。」と語ってくれた。



稲刈りの収穫体験の風景